

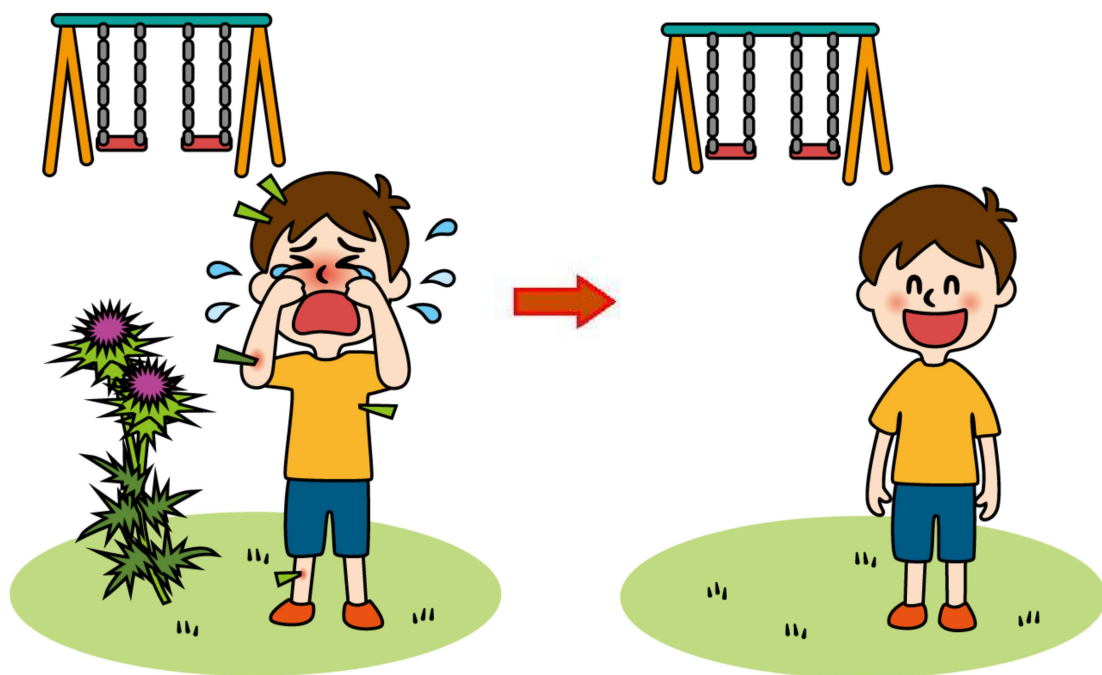
子供たちをトゲいっぱいのお あぶない植物から守ろう！

外来種 **アメリカ・オニアザミ**

除去への 学習会

- ▽ **1月18日** (土) 午後2時～4時
- ▽ **中央生涯学習センター** (メイプル・ホール) 2階 講義室 (箕面駅から徒歩7分)
- ▽ ①「**アメリカ オニアザミの日本・大阪での現状**」
講師：大阪市立自然史博物館 学芸員 長谷川 匡弘 さん
- ▽ ②「**箕面での今までの活動報告**」
外来植物アクション市民の会・箕面 大瀨 光央 さん
- ▽ ③ **みんなで討議** ～ 今後の方向 など
- ▽ 参加：どなたでも (事前申込み不要。子供連れOK)
- ▽ 主催：**外来植物アクション市民の会・箕面** (仮称・準備中)
共催：**生きもの会議** (箕面 生物多様性会議)
NPO花とみどり (NPO法人 花とみどりの街づくり・箕面)
- ▽ 連絡先：NPO花とみどり (事務局・しげもと)
☎：090-4901-6693 Eメール：hana.midori.minoh@gmail.com
所在地：〒562-0013 箕面市坊島4-5-20 みのお市民活動センター内

注射針のようなトゲに刺されて・・・ **アメリカ・オニアザミ バイバイ!**



みんなで探し 取り除こう!

(裏面もどうぞ)

《 アメリカ・オニアザミのいろいろ 》



【アメリカ・オニアザミ】

(箕面市粟生間谷東1丁目)

【その姿・形・生態】

- ◆ ヨーロッパ原産。アメリカを經由し家畜の餌にまぎれて1960年代に北海道に上陸。以後、本州・四国や大阪に到達、九州には未到達（「環境省」）。箕面市内でも多数を確認・除去。しかし、除去できたのはまだ一部で、あちこちに生育中とみられる。
- ◆ **1～2年草**又は**短命の多年草**といわれる（環境省・ネット情報。未確定）。春～夏にかけ茎を立ち上げ**開花**。その後、秋にかけ**結実**し、タネは**綿毛つき**で風や流水で拡散。茎は冬には**枯れる**。タネは秋又は春に**発芽**、その際、タンポポのように葉を水平に広げる**ロゼット状**をとるようである。春以降に生長。（観察中）
- ◆ 花びらと根以外は、**全身トゲだらけ**。
- ◆ 茎は立ち上がると、高さは約**1.5m**になるものもある。



(ロゼット状)

【除去する理由】

- (1) 皮手袋をも通すほどの細く鋭いトゲを全身に持つ。刺さるとかなり痛く、血が出ることも。**(危険)**
- (2) 環境省が「問題のある外来種」にリスト・アップ。放置すると、在来の自然の野草の生育地を奪うなど**植物生態系に悪影響**。（草地・山地・牧草地などでシカやウシなどの草食動物が食べず（天敵がおらず）、日本ではアメリカ・オニアザミの繁殖が押さえられにくい）
- (3) できるだけ株数が増えない段階での**早期除去**が、望ましい。